

2025年度 前学期入学

A 日程

学内推薦入試（博士前期課程）

東京理工系4大学 特別推薦入試（博士前期課程）

海外協定校特別推薦入試

- 環境情報学専攻
- 東京都市大学・エディスコワン大学  
国際連携環境融合科学専攻
- 都市生活学専攻

願書受付期間	2024年 5月 2日（木）～5月6日（月） <b>必着</b>
選考（試験）	5月15日（水）
合格発表	5月20日（月）10:00
入学手続き期限	6月 7日（金）消印有効

## 人材の養成及び 教育研究上の目的

環境、情報、都市生活に関わる高度な教育と社会的要請に応える研究の実践を通して、複雑化する世界や地域の中から課題を的確に発見し解決するために、自然、数理及び社会科学的分析力と洞察力を養い、多様な利害関係者と連携しつつ多角的に探究し、新たな価値と豊かな社会を創造することができる人材の養成を目的とする。

東京都市大学大学院環境情報学研究科での学び

総人口 80 億、世界 GDP97 兆ドル、世界のインターネット利用率 63%、年間一次エネルギー消費量 37 億トン（石油換算）、年間二酸化炭素排出量 335 億トン、都市生活人口 45 億人…

私たちの生活環境は膨張し続けています。このような膨張は一方で、環境、社会、情報、政治、文化、様々な側面で大きな歪みという形で表れています。100 年間で気温は約 1℃上昇し、36 億人が水不足の状態を経験し、いまだ 18 億人がトイレの無い生活を余儀なくされています。2030 年までに都市人口は全人口の 6 割を超えます。日本のサイバー攻撃は年間 5001 億件、世界の難民は 8,930 万人を超え、格差や貧困は拡大し、国家間の紛争やテロ、移民者数の増大など、社会問題は一層深刻化しています。しかし、未だ人類はこれらを根本的に解決する方法を見出していません。

2015 年、国連が中心となって持続可能な開発目標が定められました。ここには、気候変動、適応・緩和、水、生態系、都市やインフラストラクチャなど様々な項目に対して、世界の目標が掲げられています。広範で多岐に渡る地球規模の課題を解決していくには、人工知能、IoT、ビッグデータといった最先端の情報処理技術を駆使しつつ、バイオマスや再生エネルギー、炭素回収利用などのカーボンニュートラルを実現できるエコイノベーションを飛躍的に進め、スマートシティやエコタウンを早期に具現化していくことが求められます。これらの推進には国や自治体、企業、NPO や NGO、消費者団体といったあらゆる活動主体が取り組むことが求められますが、これらの組織を牽引する人材が決定的に不足しています。

大学院環境情報学研究科では、21 世紀の新しい研究領域である「環境」と「情報」と「都市」に関する基礎研究や応用研究を深めると同時に、その成果を社会へ実装していくことで持続可能社会の実現に貢献していくことを使命としています。俯瞰的な視点から物事を捉え、国内外の問題の本質を見抜く洞察力、専門知識や技能に裏付けられた研究の実践力、そして得られた成果を対外的に伝達する発信力を修得されることを重視した教育課程を設置しています。環境・情報・都市の各分野で活躍する 47 名の教員とのマンツーマンに近い密度の濃い研究指導、企業や自治体との連携によるインターシップや研究プロジェクトの実施、定期的に行われる発表会・中間発表、国際会議での研究発表、国内外のジャーナルでの査読論文の発表、日本人学生と留学生の交流などは、本研究科で学ぶ学生にとって貴重な経験と将来の財産になることでしょう。

環境情報学研究科の修了生は、世界の環境・社会問題を解決するためのエキスパートとして、研究機関、コンサルティング、情報産業、自治体、国際機関など様々な場面で活躍しており、本研究科の教育課程の質の高さは修了生の活躍から実証されています。本研究科の教育課程を通じて、専門性を深めつつ（縦糸）、多岐に渡る領域を横断的に理解（横糸）し、縦糸と横糸の均整の取れた総合力を向上させることで、持続可能社会の実現に寄与する人材へと成長されることを期待します。

環境情報学研究科長  
リジャル ホム・バハドウル

# 大学院共通ポリシー

## アドミッションポリシー

東京都市大学大学院は、持続可能な社会発展をもたらすための人材育成を目的とし、その目的を達成するための学術研究の専門分野に対応して研究科を設置しています。各研究科では、それぞれ定めた「人材養成及び教育研究上の目的」に基づき、以下のような能力・意欲・目標を持つ人を求めます。

### 【博士前期課程】

現代社会では、経済・社会・環境の3つの要素を考慮し、持続可能な社会開発が求められています。そのためには、確かな専門能力に基づき横断的かつ複合的に社会の諸問題を解決できる人材が必要です。そこで、入学を希望する学生には以下の項目に対して共有できることを求めます。

1. 本学の掲げる「教育理念」と「教育目的」への共感
2. 多面的かつ複合的な視点とそれに基づく論理的思考
3. 未知な問題に対する強い関心とその解決に対するチャレンジ精神
4. 専門的な能力を有するものとして必要なコミュニケーション力
5. 人間として持つべき倫理観

### 【博士後期課程】

現代社会では、経済・社会・環境の3つの要素を考慮し、持続可能な社会開発が求められています。その開発のためには諸課題の解決を図る高度な研究能力が必要であり、さらには、新しい課題そして新しい領域を開拓する能力を身に付けることが求められています。このため、以下の項目に対して共有できる学生を求めます。

1. 現代社会の抱える諸問題を認識し社会の発展に貢献する意欲
2. 未解決課題に対応するために自らの能力を開発する力
3. 地球的視野から様々な関係者と連携しつつ諸問題の解決に取り組む能力
4. 指導的な役割を果たすために必要な実行力
5. 研究活動に求められる適切な倫理観

## カリキュラムポリシー

東京都市大学大学院は、修了認定・学位授与に関する方針を達成するために、以下のように教育課程を編成・実施します。

### 【博士前期課程】

1. 研究能力の養成に資する専門基礎科目群を編成するとともに、分野ごとの高度な専門知識の修得に資する専門科目群を編成する。
2. 幅広い教養を持ち、国際社会で活躍できる人材を育成するため、共通科目群を編成する。
3. 専門分野に関する特定の課題を深く追求し、高度な研究能力を修得するため、特別研究を設置する

### 【博士後期課程】

1. 高度な学術研究を遂行する研究者として備えるべき見識と素養を身に付けるため、学際的な教養、先端的な研究方法、研究成果を体系化する能力などを獲得し、併せて研究倫理を徹底するとともに教育者としての役割および社会における学識経験者の役割を適切に果たすための素養を培うため、「講究」を設置する。
2. 専門分野に関わる特定の研究主題を設定し、これを深く追求して学位論文に取りまとめるため、「特殊研究」を設置する。

## ディプロマポリシー

東京都市大学大学院は、本学の教育理念に基づき、所定の単位を取得し、以下の知識・能力等を修得した学生に対して修了を認定し、博士前期課程においては修士の学位を、博士後期課程においては博士の学位を授与します。

### 【博士前期課程】

1. 自らの専門に関する特定の問題に対して、課題の設定を適切に行い、解決方法を構想し、高度な専門知識を駆使して問題解決に取り組む実践的な研究能力を身に付けている。  
取り組む
2. 国際社会において、修得した専門知識と自らの研究成果を活かして活躍できる実践的なコミュニケーション能力を身に付けている。
3. 研究活動に求められる適切な倫理観と行動特性を有している。

### 【博士後期課程】

1. 自らの専門に関する高度な研究を遂行でき、研究成果を体系的にまとめる能力を身に付けている。
2. 国際社会や他機関との連携を通じて、社会ニーズを意識しながら学術研究成果を導き、新しい価値創造に貢献できる能力を身に付けている。
3. 適切な研究倫理面での配慮のもとで研究を遂行できる能力を身に付けている。

## 環境情報学研究科

### アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

#### □博士前期課程

現代社会では、社会・経済の変化と先端技術の普及に伴い、個人や家族などの小さいスケールから、企業や地域社会、都市や国家や地球全体等の大きなスケールまで、様々な課題が複雑に絡み合う形で、分野横断的に表れてきています。そこで、持続可能な社会の存続に向けて、従来の専門分野にとらわれずに、横断的かつ総合的に問題の解決をはかることが求められています。

#### 【人材の養成及び教育研究上の目的】

環境情報学研究科 博士前期課程では、環境、情報、都市生活に関わる諸問題に具体的な問題意識を持ち、生活する人々の立場にたって課題の解決に取り組める人材の養成を目指しています。このため、以下の項目を私達と共有できる学生の入学を求めます。

#### 【求める人物像】

1. 本研究科の掲げる教育理念および目標への共感
2. 現代の日本及び国際社会に対する問題意識
3. 国際的、未来的、学際的な視点
4. 問題の解決に対する実践的取り組みへの意欲
5. 他者とのコミュニケーション力
6. 世界の持続可能な発展に寄与する人材及び研究者として持つべき倫理

#### □博士後期課程

近年のテクノロジーの発展は、都市化と高度情報化をもたらす一方、国内外を問わず、また企業活動・社会活動など幅広い分野を横断する形で、人間環境に関わる諸問題を多様化させています。環境、情報、都市生活に関わる領域は極めて広範であり、関係する従来の学問領域も多様です。これらの諸問題を解決し、人類社会をより豊かに発展させていくためには、従来の縦割りの学問体系・枠組みを超えて、それらをいわば横糸で通す形で解決策を紡ぎ出す学際的な意識を持った研究が必要です。

#### 【人材の養成及び教育研究上の目的】

環境情報学研究科博士後期課程では、環境、情報、都市生活に関わる諸問題に対する深い洞察力と、新たな研究領域の開拓に取り組む意欲を持ち、学際的な広い視野に立って、高度な研究能力と学識を教授する能力を身につけた人材の養成を目指しています。

#### 【求める人物像】

環境情報学研究科博士後期課程では、このような現代社会の抱える諸問題に対し明確な意識を持ち、持続可能な社会を維持するために必要な環境、情報、都市生活に関わる諸問題の解決に取り組む、新たな学問領域の開拓に意欲を持つ学生を求めます。

### カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

#### □博士前期課程

##### [必修及び研究科目]

環境、情報、都市生活に関する諸問題の解決に必要な科学的思考、調査・分析・評価能力を涵養するため、学生は研鑽を積みたいと考える領域のいずれかの教員の研究室に所属し、その教員からの直接指導のもとで「文献研究・演習」、「特別研究」を履修する。

##### [領域ごとの授業科目]

環境、情報、都市生活に関する特定領域について、分野横断的な幅広い知識と分野ごとの深い知識の両方を身に付けた人材を育成するため、「専門基礎科目」および領域ごとの「専門科目」を設置するとともに、複数領域の単位修得を可能とする。

##### [共通科目]

環境情報学専攻及び都市生活学専攻では、国際社会で実践的に活躍できる人材を育成するため、英語によるアカデミックライティングやプレゼンテーション能力等を養うための英語科目を共通科目として設置する。また、国際学会での発表や国際ジャーナルへの投稿等を奨励する。

##### [連携外国大学による専門科目]

東京都市大学・エディンバラ大学国際連携環境融合科学専攻では、国際社会において環境科学領域で実践的に活躍できる人材を育成するため、連携外国大学が提供する環境科学に関する専門科目を履修する。さらに、連携外国大学教員からの直接指導による「Postgraduate Science Project」を履修して、世界で通用する専門力を修得する。

## □博士後期課程

### [講究]

学生それぞれが、学位論文を取りまとめて行くプロセスのなかで、環境、情報、都市生活に係わる先端知識を、担当教員からの指導を通して獲得する。また、学生が修了後に教育者または学識経験者としての社会的役割を果たすことを想定し、学識を教授するために必要な能力を培う機会を設ける。

### [特殊研究]

学生が研鑽を積みたいと考える領域のいずれかの教員の研究室に所属し、論文執筆の指導を受けながら研究を構想する。その後、特定の研究テーマを設定し、そのテーマに関わる主たる担当教員から指導を受けて研究を遂行し、学位論文を取りまとめる。また、このプロセスにおいて、学期ごとに研究科における発表の機会を設け、研究科在籍の全教員からの助言を受ける機会を確保する。

## ディプロマポリシー（学位授与に関する方針）

### □博士前期課程

#### [専門知識・応用力]

環境、情報、都市生活に関する特定及び世界共通の課題について深く考察し、実践的な問題解決又は持続可能社会の構築に寄与するための専門知識や能力を身につけた者

#### [分析力・構想力]

現代の日本及び国際社会が直面する環境、情報、都市生活に関する諸問題に対する科学的思考、調査・分析・評価を通して解決方法を構想できる能力を身につけた者

#### [研究倫理]

適切な研究倫理と多様性に配慮しつつ、研究を続ける資質と研究を発展させる可能性がある者と認められる者

#### [語学力]

国際社会に貢献できる素質を持ち、責任感を持って、環境、情報、都市生活の諸問題における研究と実務を発展させる可能性がある者と認められる者

### □博士後期課程

#### [高度な研究能力]

環境、情報、都市生活に関する高度な研究を遂行するとともに、研究の成果を体系的にまとめあげること、実践的な問題解決に資する専門知識と知の発展に貢献する能力を身につけた者

#### [学際的な広い視座]

環境、情報、都市生活に関連する多様な事象および学術研究成果を俯瞰し、それらを専門知識と結びつけて、新たな価値創造に貢献できる能力を身につけた者

#### [研究倫理]

適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と高度な研究を発展させる可能性がある者と認められる者

## 環境情報学専攻

## アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

### □博士前期課程

#### [求める人物像]

本専攻では、環境マネジメント、コミュニケーション環境、情報システム、地域・都市環境のいずれかの領域に関心を持ち、次の能力を有する学生の入学を希望します。

1. 選択する領域での研究に必要な学部卒業レベルの基礎学力を有していること。（ただし環境及び情報に関する科目を履修していることは必要条件ではありません）。
2. 講義を受講し、グローバルに研究を展開するうえで必要な語学力。
3. 環境あるいは情報に関し、解決すべき課題に対して具体的な問題意識を持っており、それを他者に平易に説明できること。

このような人材を求めるために、「一般選抜（日本語）」「一般選抜（英語）」（英語による指導法を出願前に相談の上、審査書類を作成）では筆記試験と面接からなる入学試験を実施します。また、社会、および、海外から広く人材を受け入れるために筆記試験を免除した「社会人選抜」（2年以上の実務経験が必要）を設けています。

## □博士後期課程

### [求める人物像]

本専攻では、環境あるいは情報のいずれかの領域に関心を持ち、次の能力を有する学生の入学を希望します。

1. 選択する領域での研究に必要な博士前期課程修了レベルの専門知識や能力を有していること。
2. 講義を受講し、グローバルに研究を展開するうえで必要な語学力。
3. 環境あるいは情報に関し、解決すべき課題に対して具体的な問題意識を持っており、それを他者に平易に説明できること。

このような人材を求めるために、「一般選抜（日本語）」「一般選抜（英語）」（英語による指導法を出願前に相談の上、審査書類を作成）では筆記試験と面接からなる入学試験を実施します。また、社会、および、海外から広く人材を受け入れるために筆記試験を免除した「社会人選抜」（2年以上の実務経験が必要）を設けています。

## カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

### □博士前期課程

#### [必修科目]

環境あるいは情報に関する諸問題の解決に必要な科学的思考、調査・分析・評価能力を涵養するため、学生は研鑽を積みたいと考える領域のいずれかの教員の研究室に所属し、その教員からの直接指導のもとで「文献研究・演習」、「特別研究」を履修する。

#### [領域ごとの授業科目]

環境あるいは情報に関する特定領域について、深い知識と分野横断的な幅広い知識の両方を身につけた人材を育成するため、「専門基礎科目」と領域ごとの「専門科目」を設置するとともに、複数領域の単位修得を可能とする。

#### [共通科目]

国際社会で実践的に活躍できる人材を育成するため、英語によるアカデミックライティングやプレゼンテーション能力等を養うための英語科目を共通科目として設置する。また、国際学会での発表や国際ジャーナルへの投稿などを奨励する。

### □博士後期課程

#### [研究・教育力の高質化]

高度な研究を遂行するために必要な方法論や、環境あるいは情報に関する諸問題の実践的な解決能力を養うとともに、学識を教授するために必要な能力を培うため「環境情報学講究」を設置する。

#### [新たな知の発展]

環境あるいは情報に係わる特定の研究テーマを設定したうえで、高度な研究方法を駆使して研究を遂行し、その成果を独自性と一貫性のある博士論文にまとめ上げることで、自立した研究者として新しい領域を開拓できる研究能力が身につくように「環境情報学特殊研究」を設置する。

## ディプロマポリシー（修了認定・学位授与に関する方針）

### □博士前期課程

#### [専門知識・応用力]

環境あるいは情報に関する特定の問題について深く考察し、専門知識や能力を身につけた者

#### [分析力・構想力]

現代社会が直面する環境あるいは情報に関する諸問題に対する科学的思考、調査・分析・評価を通して解決方法を構想できる能力、計画策定能力、政策提言能力を身につけた者

#### [語学力]

国際社会に貢献できる素質を持ち、責任感を持って、環境あるいは情報における研究と実務を発展させる可能性がある者と認められる者

#### [研究倫理]

適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と研究を発展させる可能性がある者と認められる者

### □博士後期課程

#### [高度な研究能力]

環境あるいは情報に関する高度な研究を遂行するとともに、研究の成果を体系的にまとめあげることのできる実践的な問題解決に資する専門知識と知の発展に貢献する能力を身につけた者

#### [学際的な広い視座]

環境あるいは情報に関連する多様な事象および学術研究成果を俯瞰し、それらを環境情報学の専門知識と結びつけて、新たな価値創造に貢献できる能力を身につけた者

[研究倫理]

適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と高度な研究を発展される可能性がある者と認められる者

## 東京都市大学・エディンバラ大学国際連携環境融合科学専攻

### アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

[求める人物像]

1. 本研究科の掲げる教育理念及び目標への共感
2. 現代の国際社会における問題意識
3. 国際的，未来的，学際的な視点
4. 問題の解決に対する実践的取り組みへの意欲
5. 他者とのコミュニケーション力
6. 世界の持続可能な発展に寄与する人材として持つべき倫理

### カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

[研究科目]

環境，情報，都市生活に関する諸問題の解決に必要な科学的思考，調査・分析・評価能力を涵養するため，いずれかの教員の研究室に所属し，本学教員の直接指導のもとで「文献研究・演習」，「特別研究」を履修する。

[領域ごとの授業科目]

環境，情報，都市生活に関する特定領域について，分野横断的な幅広い知識と分野ごとの深い知識の両方を身に付けた人材を育成するため，領域ごとに「専門科目」を設置し，複数領域の単位修得を可能とする。

[連携外国大学による専門科目]

国際社会において環境科学領域で実践的に活躍できる人材を育成するため，連携外国大学が提供する環境科学に関する専門科目を履修する。さらに，連携外国大学教員からの直接指導による「Postgraduate Science Project」を履修して，世界で通用する専門力を修得する。

### ディプロマポリシー（学位授与に関する方針）

所定の年限在学し，以下の知識と能力とともに所定の単位数を修得し，必要な研究指導を受けた上で修士論文又は特定の課題についての研究成果等の審査及び最終試験に合格した者に，修士（環境学）の学位を与える。

[専門知識・応用力]

環境，情報，都市生活に関する世界の共通課題について深く考察し，持続可能社会の構築に寄与するための専門知識と研究能力を身につけた者

[分析力・構想力]

現代の国際社会が直面する環境，情報，都市生活に関する諸問題に対する科学的思考，調査・分析・評価を通して解決方法を構想し，提案できる能力を身につけた者

[研究倫理]

適切な研究倫理と多様性に配慮しつつ，研究を継続して実施，発展させる熱意と資質があると認められる者

# 東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻について

- ・本専攻は、国際連携教育課程制度に基づく専攻（博士前期課程）です。国際連携教育課程は、ジョイント・ディグリープログラムとも称され、日本と海外の連携する大学間で開設された単一の共同の教育プログラムを学生が修了した際に、当該連携する複数の大学が共同で連名して単一の学位を授与するものです。  
本専攻の海外連携大学は、東京都市大学オーストラリアプログラム（TAP）の派遣先であるエディスコワン大学です。本専攻では、すべての授業を英語で行います。また、東京都市大学を主大学とする本専攻の学生は、1セメスターをオーストラリア連邦 西オーストラリア州のパーズで過ごし、エディスコワン大学が開講する科目を履修します。東京都市大学の開講科目から15単位、エディスコワン大学での開講科目から15単位など所要の要件を充たし、修士論文等の研究成果の審査と最終試験に合格することで、東京都市大学とエディスコワン大学より連名で英文の学位記（学位：Master of Environmental Studies）が授与されます。
- ・本専攻は、文部科学省 令和4年度大学教育再生戦略推進費「大学の世界展開力強化事業～インド太平洋地域等との大学間交流形成支援～」による支援を受けており、2026年度まで留学に伴う往復航空券及び宿泊費の補助を受けられる場合があります。但し、渡航のための査証申請費用（約7万円）、海外滞在期間中の保険料（約5万円）、及び現地での生活費は自己負担となります。
- ・本学とエディスコワン大学の双方から研究指導を受けることができます。
- ・本専攻では、入学手続きを行った大学を主大学とします。本学を主大学とする学生は、入学金や授業料を本学に納入し、エディスコワン大学に別途入学金や授業料を支払う必要はありません。なお、付随的な料金や費用が生じる場合があります。
- ・入学定員は、本学を主大学とする学生5名、エディスコワン大学を主大学とする学生5名です。
- ・入学後は、本学及びエディスコワン大学の両方の学籍を有することとなります。
- ・本学が定める入学資格を満たすことに加え、エディスコワン大学が定める入学資格を満たす必要があります。その1つとして、English Language requirements (Band 4)が定められています。詳細は以下のURLより確認してください。

【 English Language requirements (Band 4) 参照 URL 】

<https://www.ecu.edu.au/future-students/course-entry/english-proficiency-bands>

( English Language requirements (Band 4) の具体例 )

- ・ IELTS Academic ( IELTS Academic UKVI を含む ) のスコア 6.5 以上 (各項目 6.0 以上)。
- ・ TOEFL iBT または TOEFL iBT Special Home Edition のスコア 84 以上 (各項目 17 以上)。  
※ IELTS Academic オンラインテストのスコアは対象外。  
※ 入学日から遡って2年以内に実施された英語外部検定試験のスコアが有効。

## 2年間の学修のながれ

本専攻では、本大学院とエディスコワン大学の双方の学籍を有することとなります。すなわち、修了するためには、双方の修了要件を満たさなければなりません。本大学院では、2年以上在学し、30単位（うち本学開講科目15単位、エディスコワン大学開講科目15単位）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、両大学が連携して行う修士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。これに加え、エディスコワン大学では指定されたアカデミックトレーニングの合格等を修了要件として求めています。詳細は、入学後にお知らせいたします。

【一般的な履修スケジュール】

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本学を主大学とする学生	M1		本学		エディスコワン大学に留学		インターンシップ		M2		本学		エディスコワン大学(40%)		両大学の指導教員から研究指導を受ける											
															本JDPの同級生がエディスコワン大学に集											
															本JDPの同級生が本学に集う											



## 都市生活学専攻

### アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

#### □博士前期課程

[人材養成及び教育研究上の目的]

都市に生起する様々な事象の中から課題を発見し、専門的な知識と分析力をもってこれらを深く考察し、「価値ある都市生活」の創造に結び付く実践的な解決方法を構想できる専門能力を身につけた人材を養成することを目的としています。

[求める人物像]

1. 都市に関心を持ち、「価値ある都市生活」の創造に係わる研究や事業を通じて社会に貢献したいと望む人
2. 学部卒業レベルの基礎学力を有し、論理的な思考ができ、新規の発見、有用な創意工夫又は独創的な創作に意欲を有する人
3. 論文の読解とコミュニケーションが可能な英語力を有する人
4. 研究者として適切な倫理観を有する人

#### □博士後期課程

[人材養成及び教育研究上の目的]

現代社会における都市と都市生活の価値創造を分野横断的に探究する都市生活学において、高度な分析能力、グローバル化と技術革新に対応した幅広い知見、価値創造の方法論を先導する研究開発力を有するとともに、都市生活の新時代を切り開く構想力と高度な専門能を併せ持つ人材能力を担うことのできる人材を育成することを目的としています。

[求める人物像]

1. 都市に深い関心を持ち「価値ある都市生活」の創造に係わる卓越した研究や独創的な事業を通じて社会に貢献したいと望む人
2. 博士前期（修士）課程修了レベルの専門知識と研究能力を有し、学際的な発想を持ち新しい研究領域の開拓に向かう意欲を有する人
3. 国外の研究者との研究交流と論文執筆が可能な英語力を有する人
4. 研究者として適切な倫理観を有する人

### カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

#### □博士前期課程

[必修科目]

専門知識を応用し、都市社会が直面する諸問題の解決を図り、又は豊かな都市生活を創造するため、専門分野の「文献研究・演習」「特別研究」を履修する。

[専門知識を高める科目]

都市生活学の専門4分野について、特定分野の深い知識と分野横断的な幅広い知識の両方を身につけた人材を育成するため、「専門基礎科目」と4分野の「専門科目」を設置するとともに、複数分野を履修する

[共通科目]

国際社会で実践的に活躍できる人材を育成するため、英語によるアカデミックライティングやプレゼンテーション能力等を養うための英語科目を共通科目として設置する。また、国際学会での発表や国際ジャーナルへの投稿などを奨励する。

#### □博士後期課程

[研究・教育力の高質化]

高度な研究に用いられる多様な方法論を習得しつつ、都市社会に生起する事象を多角的・学際的に捉える視座と本質を見抜く洞察力を養うとともに、学識を教授するために必要な能力を培うため「都市生活学講究」を設置する。

[新たな知の発展]

都市と都市生活に関わる特定の研究テーマを設定し、高度な研究方法を駆使して研究を遂行し、その成果を独自性と一貫性のある博士論文にまとめ上げるとともに、自立した研究者として新しい領域開拓できる研究能力が身につくように「都市生活学特殊研究」を設置する。

## ディプロマポリシー（修了認定・学位授与に関する方針）

### □博士前期課程

#### [専門知識・応用力]

都市生活領域に関する特定の問題を深く考察し、実践的な問題解決に資する専門知識や能力を身につけた者

#### [分析力・構想力]

現代社会が直面する都市生活領域に関連する諸問題への科学的思考、調査・分析・評価・予測を通じ、国際社会に通じる有用な解決方法を構想し、提案できる能力を身につけた者、又は解決のための構想を有効で独創性のあるプランとしてまとめ、提示できる能力を身につけた者

#### [語学力]

国際社会に貢献できる素質を持ち、責任感を持って都市生活領域の研究と実務を発展させる可能性がある者と認められる者

#### [研究倫理]

適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と研究を発展させる可能性がある者と認められる者

### □博士後期課程

#### [高度な研究能力]

都市生活学に関する高度な研究を遂行するとともに研究の成果を体系的にまとめあげ公表して知の発展に貢献する力を身につけた者

#### [学際的な広い視座]

都市と都市生活に関連する多様な事象および学術研究成果を俯瞰し、それらを都市生活学の専門知識と結び付けて、新たな価値創造に貢献できる能力を身につけた者

#### [研究倫理]

適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と高度な研究を発展される可能性がある者と認められる者

博士前期課程			博士後期課程		
専攻	領域	指導教員	専攻	領域	指導教員
環境情報学専攻	環境マネジメント	● ○ 教授 大久保 寛基	環境情報学専攻	環境	◎ 教授 飯島 健太郎
		● ○ 教授 岡田 公治			◎ 教授 岡田 公治
		● ○ 教授 木下 幸雄			◎ 教授 大久保 寛基
		● ○ 教授 佐藤 剛			◎ 教授 木下 幸雄
		● ○ 教授 佐藤 真久			◎ 教授 佐藤 剛
		● ○ 教授 馬場 健司			◎ 教授 佐藤 真久
		● ○ 教授 古川 柳蔵			◎ 教授 史 中超
		● ○ 准教授 岡田 啓			◎ 教授 馬場 健司
		● ○ 准教授 古川 務			◎ 教授 古川 柳蔵
	● ○ 准教授 兵法 彩	◎ 教授 横田 樹広			
	● ○ 准教授 森 朋子	◎ 教授 リジナル H.B.			
	● ○ 教授 岡部 大介	◎ 准教授 内田 圭			
	● ○ 教授 奥村 倫弘	◎ 准教授 岡田 啓			
	● ○ 教授 小池 星多	◎ 准教授 加用 現空			
	○ 教授 高田 昌幸	◎ 准教授 北村 亘			
● ○ 教授 中村 雅子	◎ 准教授 後藤 智香子				
● ○ 教授 広田 すみれ	◎ 准教授 丹羽 由佳理				
● ○ 准教授 周 娟	◎ 准教授 成 泳植				
● ○ 准教授 関 博紀	◎ 准教授 兵法 彩				
● ○ 准教授 永盛 祐介	◎ 准教授 森 朋子				
● ○ 准教授 矢吹 理恵					
● ○ 准教授 山崎 瑞紀					
都市生活学専攻	コミュニケーション環境	● ○ 教授 浅香 航太	都市生活	都市生活	◎ 教授 浅香 航太
		● ○ 教授 市野 順子			◎ 教授 市野 順子
		● ○ 教授 岩野 公司			◎ 教授 岩野 公司
		● ○ 教授 大谷 紀子			◎ 教授 大谷 紀子
		● ○ 教授 関 良明			◎ 教授 関 良明
		● ○ 教授 増田 聡			◎ 教授 中村 雅子
		● ○ 教授 宮地 英生			◎ 教授 広田 すみれ
		● ○ 准教授 小川 祐樹			◎ 教授 増田 聡
		● ○ 准教授 小倉 信彦			◎ 教授 宮地 英生
	● ○ 准教授 中村 裕美	◎ 准教授 小川 祐樹			
	● ○ 准教授 三川 健太	◎ 准教授 小倉 信彦			
	● ○ 講師 佐藤 圭浩	◎ 准教授 周 娟			
	● ○ 教授 飯島 健太郎	◎ 准教授 関 博紀			
	● ○ 教授 史 中超	◎ 准教授 中村 裕美			
	● ○ 教授 横田 樹広	◎ 准教授 永盛 祐介			
● ○ 教授 リジナル H.B.	◎ 准教授 三川 健太				
● ○ 准教授 内田 圭	◎ 准教授 矢吹 理恵				
● ○ 准教授 加用 現空	◎ 准教授 山崎 瑞紀				
● ○ 准教授 北村 亘	◎ 講師 佐藤 圭浩				
● ○ 准教授 後藤 智香子					
● ○ 准教授 丹羽 由佳理					
● ○ 准教授 成 泳植					
環境融合科学国際連携	都市生活	● ○ 教授 明石 達生	環境融合科学国際連携	都市生活	◎ 教授 明石 達生
		● ○ 教授 宇都 正哲			◎ 教授 宇都 正哲
		● ○ 教授 川口 和英			◎ 教授 川口 和英
		● ○ 教授 坂井 文			◎ 教授 坂井 文
		● ○ 教授 坂倉 杏介			◎ 教授 坂倉 杏介
		● ○ 教授 高柳 英明			◎ 教授 高柳 英明
		● ○ 教授 永江 総直			◎ 准教授 諫川 輝之
		● ○ 准教授 諫川 輝之			◎ 准教授 林 和真
		● ○ 准教授 林 和真			◎ 准教授 太田 明
		● ○ 准教授 太田 明			◎ 准教授 北見 幸一
		● ○ 准教授 北見 幸一			◎ 准教授 齋藤 圭
		● ○ 准教授 齋藤 圭			◎ 准教授 末繁 雄一
		● ○ 准教授 末繁 雄一			◎ 准教授 中島 伸
		● ○ 准教授 中島 伸			◎ 准教授 西山 敏樹
		● ○ 准教授 西山 敏樹			◎ 准教授 橋本 倫明
● ○ 准教授 橋本 倫明					
● ○ 教授 木下 幸雄					
● ○ 教授 佐藤 真久					
● ○ 教授 古川 柳蔵					
● ○ 教授 横田 樹広					
● ○ 准教授 加用 現空					
● ○ 准教授 丹羽 由佳理					
● ○ 講師 ニコ スランタ					

●印：英語による修士論文指導対応  
 ○印：英語による授業実施  
 ◎印：英語による博士論文指導対応  
 ※印：環境情報学専攻／東京都市大学・エディス  
 コーワン大学国際連携環境融合科学専攻兼務

注意：△印を付した教員の指導は、2025年度(博士前期課程1年次)のみとなります。指導引継ぎ予定教授を指導教授と協議の上、あらかじめ決めて出願して下さい。

注意：◇印を付した教授の指導は、指導を希望する場合には、最終年度までの指導予定教授を指導教授と協議の上、あらかじめ決めて出願して下さい。

# 入学試験概要

## 1. 募集人員

研究科	専攻	博士前期課程	博士後期課程
環境情報学研究科	環境情報学専攻	62名	6名
	東京都市大学・エディスコワーソソ大学 国際連携環境融合科学専攻	5名	—
	都市生活学専攻	18名	6名

※前学期入学（推薦試験・一般試験）後学期入学（推薦試験・一般試験）合わせての人数

## 2. 入学試験概要

		A日程
推薦試験	学内推薦入試	<p>本学からの進学希望者で、学力・人物ともに優秀な学生については、推薦による入学を認めます。</p> <p>【選考方法】 ①出願書類に関する審査 ②面接試験</p>
	東京理工系4大学 特別推薦入試	<p>『東京理工系大学 学術と教育の交流に関する協定』に基づき、芝浦工業大学・東京電機大学・工学院大学から推薦のあった学生を対象として入学者の受け入れを行います。</p> <p>【選考方法】 ①出願書類に関する審査 ②面接試験</p>
	海外協定校 特別推薦入試	<p>海外協定校からの進学希望者で、所属する学科等の主任教授、及び在籍大学又は大学院の学長に相当する者の推薦を得ている者について、出願書類に関する審査及び口述試験を含む面接試験を総合して選考します。</p> <p>【選考方法】 ①出願書類に関する審査 ②面接試験</p>
出願期間		2024年5月 2日(木)～5月 6日(月) 必着
試験日		5月15日(水)
合格発表		5月20日(月)10:00
手続期限		6月 7日(金)消印有効
試験場		<p>専攻によって試験場が異なりますので注意してください。</p> <p>■横浜キャンパス 環境情報学専攻 東京都市大学・エディスコワーソソ大学国際連携環境融合科学専攻</p> <p>■世田谷キャンパス 都市生活学専攻</p>

※別途指示の上、WEB等を利用して面接試験を実施する場合があります。

指示があった場合に備え[出願手続き 8受験上の注意事項(P22)]をよく読んで、あらかじめ環境を整えてください。

※国外からの志願者についてオンラインでの受験を認める場合がありますが、入学後(2025年4月以降)は本学に入学できることが前提となります。

## 学内 推薦試験

この試験は、東京都市大学から東京都市大学大学院環境情報学研究科への推薦入学希望者で、かつ出願資格を満たしている者を対象としたものです。本学環境学部・メディア情報学部・都市生活学部の学生その他、理工学部・情報工学部・建築都市デザイン学部・人間科学部からの推薦入学希望者も対象とします。また、入学後(2025年4月以降)は本学に登学できることが前提となります。

### 1. 推薦試験について

本学からの進学希望者で、学力・人物ともに優秀な学生の大学院進学を奨めるため、3年終了時の成績を中心に募集人員の範囲内で、推薦による入学を認めています。

### 2. 出願資格

本学卒業見込者であり、次の各号の一に該当するとともに本学大学院環境情報学研究科への進学を第1志望とし、合格後に本研究科への入学を確約する者。

- (1) 出願を行う前年度に3年生であり、かつ学業成績上位者(学部の成績が学科全体の1/2以内であること)
- (2) 出願を行う前年度に4年生であり、かつ学業成績3年生の成績上位1/2以内と同等以上である者

#### ■東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻を志願する場合

- (1) (2)のいずれかに該当し、かつ以下の出願資格を有すること。
- (3) IELTS 5.0以上またはTOEFL iBT 60以上  
(エディスコワン大学が入学資格として定めるEnglish Language requirements(Band 4)に掲載された英語検定試験のスコアも可)を有していること。なお、英語外部検定試験のスコアは入学日から遡って2年以内に取得したものを有効とする。IELTS Academic オンラインテストのスコアは対象外。

・英語外部検定試験等の受験費用等は自己負担となります。

【 English Language requirements (Band 4) 参照 URL 】

<https://www.ecu.edu.au/future-students/course-entry/english-proficiency-bands>

### 3. 選考方法

志願者の選考は、出願書類の審査および面接試験により行います。

### 4. 試験日・場所

専攻	試験日時	場所
環境情報学専攻	2024年5月15日(水) 14時00分～(日本時間)	横浜キャンパス
東京都市大学・エディスコワン大学 国際連携環境融合科学専攻		世田谷キャンパス
都市生活学専攻		

### 5. 東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻との併願について

※東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻を「国際連携専攻」、エディスコワン大学を「ECU」と表記する。

国際連携専攻への進学を第1志望とする者のうち、本学他研究科・他専攻への進学も希望する者には併願(第2志望)を認める。また、第2志望も合格し、入学手続きを経たものの、2025年3月6日までにECUが定める英語要件を充足することができなかった場合には、第2志望の専攻へ進学しなければならない。

## 東京理工系大学 学術と教育の交流に関する協定に基づく大学院博士前期課程 特別推薦試験

この試験は、芝浦工業大学・東京電機大学・工学院大学から、東京都市大学大学院環境情報学研究科へ特別推薦入学を希望する者を対象としたものです。（本学環境学部・メディア情報学部・都市生活学部・人間科学部の在学生在で芝浦工業大学大学院・東京電機大学大学院及び工学院大学大学院への特別推薦を希望する者は、希望する大学院の特別推薦入試要項を確認して下さい。）また、入学後（2025年4月以降）は本学に登学できることが前提となります。

### 1. 受入専攻・受入人数

研究科	専攻	推薦受入人員		
		芝浦工業大学	東京電機大学	工学院大学
環境情報学研究科	環境情報学専攻	1名	1名	1名
	都市生活学専攻	1名	1名	1名

### 2. 出願資格

東京理工系4大学卒業見込み者であり、当該大学の学内推薦基準に達している者  
※必ず在籍大学の担当窓口での相談を経た上で出願してください。

### 3. 選考方法

志願者の選考は、出願書類の審査および面接試験により行います。

### 4. 試験日・場所

専攻	試験日時	場所
環境情報学専攻	2024年5月15日（水）	横浜キャンパス
都市生活学専攻	14時00分～（日本時間）	世田谷キャンパス

# 推薦試験（海外協定校特別推薦試験）

<p>試験概要</p>	<p>東京都市大学海外協定校から東京都市大学大学院環境情報学研究所への推薦入学希望者で、専攻する分野に関連して、所属する学科等の主任教授、及び在籍大学又は大学院の学長に相当する者の推薦を得ている者について、出願書類に関する審査及び口述試験を含む面接試験を総合して選考します。</p> <p>また、入学後（2025年4月以降）は本学に登学できることが前提となります。</p> <p>東京都市大学・ディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻へ出願する場合、対象校を限定しています。（注意事項を参照）</p> <p>※以下、東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻を「国際連携専攻」、エディスコワン大学を「ECU」と表記する。</p>	<p>試験科目</p> <p>①書類審査 ②面接試験</p>					
<p>出願資格</p>	<p><b>博士前期課程・博士後期課程</b></p> <p>東京都市大学国際交流に関する規定で定める交流協定を締結した外国の大学からの進学希望者で、一般試験と同様の資格を有する者。かつ、所属する学科等の主任教授等及び在籍大学又は大学院の学長に相当する者の推薦を得ている者（2025年3月卒業見込み者を含む）。</p> <p><b>博士前期課程</b></p> <p>本大学院の博士前期課程に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学を卒業した者。（2025年3月卒業見込み者を含む）</li> <li>(2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者</li> <li>(3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者。（2025年3月修了見込みの者を含む。）</li> <li>(4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者</li> <li>(5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者</li> <li>(6) 外国の大学等（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学省大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者</li> <li>(7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者</li> <li>(8) 文部科学大臣の指定した者</li> <li>(9) その他本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者</li> </ol> <p>※国際連携専攻へ出願する場合、以下の出願資格も必要となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(10) IELTS 5.0以上またはTOEFL iBT60以上 （ECUが入学資格として定めるEnglish Language requirements(Band 4)に掲載された英語検定試験のスコアも可）英語外部検定試験のスコアは入学日から遡って2年以内に取得したものを有効とする。 IELTS Academic オンラインテストのスコアは対象外。</li> </ol> <p><b>博士後期課程</b></p> <p>本大学院の博士後期課程に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 修士の学位または専門職学位を有するもの。（2025年3月修了見込み者を含む）</li> <li>(2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者（2025年3月修了見込み者を含む）</li> <li>(3) 外国の学校行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者</li> <li>(4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学校に相当する学位を授与された者</li> <li>(5) 国際連合大学の課程を修了し、収支の学位に相当する学位を授与された者。</li> <li>(6) 文部科学大臣の指定した者</li> <li>(7) その他大学院において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者</li> </ol>						
<p>選考方法</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>試験日程</th> <th>試験時間</th> <th>試験科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月15日（水）</td> <td>14:00～（日本時間）</td> <td>面接試験（1人あたり20分～30分）</td> </tr> </tbody> </table>	試験日程	試験時間	試験科目	5月15日（水）	14:00～（日本時間）	面接試験（1人あたり20分～30分）
試験日程	試験時間	試験科目					
5月15日（水）	14:00～（日本時間）	面接試験（1人あたり20分～30分）					
<p>注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国際連携専攻へ出願できる対象校（3校） デラサル大学 マレーシア日本国際工科院（MJIT） タマサート大学シリントーン国際工学部（SIIT）</li> <li>■ 国際連携専攻との併願について 国際連携専攻への進学を第1志望とする者のうち、本学他研究科・他専攻への進学も希望する者には併願（第2志望）を認める。また、第2志望も合格し、入学手続きを経たものの、2025年3月6日までにECUが定める英語要件を充足することができなかった場合には、第2志望の専攻へ進学しなければならない。</li> <li>■ 英語外部検定試験等の受験費用等は自己負担となります。 【 English Language requirements (Band 4) 参照 URL 】 <a href="https://www.ecu.edu.au/future-students/course-entry/english-proficiency-bands">https://www.ecu.edu.au/future-students/course-entry/english-proficiency-bands</a></li> </ul>						

# 出願手続き

## 1. 出願承諾確認

志願者は出願の前に、志望する指導教員と必ず協議し、メールで指導教員の出願承諾を受けて下さい。  
 ※別表「指導教員」に△印または◇のある指導教員は、在学期間中に交代する可能性があります。当該指導教員を志望する場合は、その後に研究指導を引き継ぐ予定の教員の承諾も要します。

## 2. 検定料

35,000円 入学検定料は検定料決済システムにより納入して下さい。納入期間は出願期間に準じます。

(<http://www.guide.52school.com/guidance/pay-tcu-g/>)

入学検定料は上記のサイトにアクセスし、出願登録後、最寄りのコンビニエンスストア（セブン-イレブン・ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・デイリーヤマザキ・セイコーマート）、ペイジー（「Pay-easy」マークのある全国のゆうちょ銀行や各銀行などのATM）または、クレジットカードで納入して下さい。入学検定料の納入の際には入学検定料の他にサービス利用料（990円）がかかります。

検定料の納入は、出願期間中にのみ可能です。出願期間前・出願期間後には納入ができません。

※金融機関の窓口での取り扱いは行いません。また、領収書の発行はいたしません。  
 ※一旦納入した入学検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しませんので、充分注意して下さい。  
 ※家族や知人が代理で手続きをする場合も、必ず志願者本人の情報を入力して下さい。

## 3. 出願書類一覧

	所定用紙	出願書類	注 意 事 項
1	A票	入学志願票	
1	—	出願承諾確認メール	「卒業研究」指導教員と志望する指導教員から出願承諾を受けたことがわかるメールをA4サイズで印刷し同封して下さい。
2	B票	入学検定料	入学検定料は検定料決済システムにより払い込み、システムから出力した収納証明書をB票に貼り付けて下さい。なお、払込期間は出願期間に準じます。期間外は納入できません。
3	—	副票（写真票）	出願前3ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽（タテ4cm×ヨコ3cm）のものをB票の所定欄に貼付して下さい。
4	C票	志望理由および研究計画	志望する指導教員と相談のうえ提出して下さい。
5	—	成績証明書	※出願日から遡って3カ月以内に発行されたもの。 最終出身学校（または在学中）の「成績証明書」
6	—	卒業証明書・卒業見込証明書	※出願日から遡って3カ月以内に発行されたもの。 <b>博士前期課程</b> 志願者 大学学部の「卒業証明書（卒業・学位取得証明書）」 または「卒業見込証明書」 <b>博士後期課程</b> 志願者 最終出身学校の大学院修士課程／博士前期課程の「修了証明書」または「修了見込証明書」
7	E票	推薦書 （東京理工系4大学特別推薦入試用）	※東京理工系4大学特別推薦入試 志願者のみ 所属する大学の卒業研究の指導教員または所属学科の主任教授と、所属大学の学長連盟のものがが必要です。



	所定 用紙	出願書類	注 意 事 項
8	E 票	推薦書 (海外協定校 特別推薦入試用)	※海外協定校特別推薦入試 志願者のみ 志願者が所属する学科等の主任教授等、および在籍大学又は大学院の学長に相当する者の連盟の推薦書が必要です。
9	F 票	受験票宛名シール	受験関係書類の送付先宛名を明記して下さい。
10	H 票	外国人留学生状況調査票	※外国人留学生のみ提出して下さい。
11	—	パスポート 必要ページ	※外国人留学生のみ提出して下さい。 氏名・顔写真・サイン等が記載されたページのコピーを提出して下さい。
12	—	在留カード両面の コピー	※外国人留学生のみ提出して下さい。 <u>日本国内在住の外国人留学生は必ず提出して下さい。</u> 在留カード両面のコピーを提出して下さい。 日本国外在住の外国人留学生は提出不要です。

#### 4. 外国人留学生の注意事項

日本国外の大学を修了(見込)・卒業(見込)の方は必ず読んでください。

出願書類：5	成績証明書
出願書類：6	卒業証明書・卒業見込証明書

に関する注意点です。

#### 4-1. 全外国人留学生 志願者 共通事項

1. 自国の最終出身校が発行した「成績証明書」「卒業(修了)証明書」を必ず提出して下さい。証明書は、必ず学校の公印が押されたものを提出して下さい。証明書が複数ページある場合は、すべてのページに公印が必要です。
2. 「成績証明書」「卒業(修了)証明書」は、原本または certified true copy (原本から正しく複製されたものであることを卒業(修了)した学校や大使館等公的機関によって証明されたコピー)を提出して下さい。
3. 日本語・英語以外で記載されている場合には、日本語または英語の訳文をつけてください。訳文は大使館などの公的機関で、原本の意味と相違がない旨の証明を受けてください。
4. 「卒業(修了)証明書」のほかに、「卒業(修了)証書(Diploma)」のコピーも可能な限り提出して下さい。
5. 証明書の氏名・生年月日等がパスポートの記載と異なる場合は、大使館等の公的機関で同一人物であることの証明を受けてください。
6. 証明書は、出願日から起算して3ヶ月前以内に発行されたものを提出して下さい。  
但し、原本が1部しかない場合はこの限りではありませんので、事情を説明するメモを同封して下さい。
7. 入学後(2025年4月以降)は本学に登学できることが出願の前提です。  
日本の在留資格を有していない者は、新規での査証申請が必要となるため入国が遅れる恐れがありますので、余裕をもって準備を進めてください。

## 出願手続き

### 4-2. 「本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した」ことが 条件となる授業料減免を希望する方

授業料減免制度のうち、本学の海外協定校卒業（見込）または修了（見込）が選考条件となる減免を希望する場合の「3. 出願書類一覧、5. 成績証明書」は、最終GPA値（見込の者は直近のGPA値）が記載されたものを提出してください。

GPA値の記載がない成績証明書が提出された場合、私費外国人留学生授業料減免において必要な審査ができないため、希望する減免が受けられない場合があります。

この場合、「本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した」ことが選考条件となる減免は希望しないものとして取り扱います。

（参考）私費外国人留学生授業料減免（本学独自）

対 象	学費減免率	備 考
次の全てを満たす者 （ア）本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した者又は卒業見込みの者 （イ）本学大学院入試出願時の GPA 値が 3.0 以上の者	授業料年額の 75%	学内国際委員会が選考し学長が決定する。
次の全てを満たす者 （ア）本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した者又は卒業見込みの者 （イ）本学大学院入試出願時の GPA 値が 2.5 以上 3.0 未満の者	授業料年額の 50%	
上記以外の私費外国人留学生	授業料年額の 30%	

## 出願手続き

### 4-3. 中華人民共和国内の大学または大学院を卒業（見込）・修了（見込）の方

博士前期課程志願者：□環境情報学専攻・都市生活学専攻

1～4（大学学部のもの）を提出してください。

□東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻

1～4（大学学部のもの）、6を提出してください。

博士後期課程志願者：1～6（大学学部のものおよび博士前期（修士）課程のもの）を提出してください。

「学歴認証書」・「成績認証書」・「学位認証書」は申請から発行まで**3か月程度かかる場合があります**ので、早めに手続きをしてください。出願期間内に上記の書類が提出されていない場合は、出願を受理しないことがあります。なお出願時に同封する必要がありますので、出願前に準備が完了するようにしてください。書類を追送する前提での出願は受理できません。

#### ■学歴認証書・成績認証書・学位認証書について

学歴認証書、成績認証書、学位認証書はCHSI 中国高等教育学生信息网（<https://www.chsi.com.cn/en/pvr>）が取り扱っています。

日本国内ではCHSI 日本代理機構（<http://www.chsi.jp>）での発行申請が可能です。

電子データの認証書を提出する場合は、出願期間内にCSSD（教育部学生服务与素质发展中心）（旧称：(CHESICC)全国高等学校学生信息咨询与就业指导中心）から本学 教学課（[yckyoumu@tcu.ac.jp](mailto:yckyoumu@tcu.ac.jp)）へ、電子メールで直送されるよう手配してください。志願者等による電子メールの転送は出願書類として認められません。

出願期間を過ぎた場合は出願を受理しない場合があります。手続きの詳細は各自で確認してください。

博士前期 博士後期 共通	1	「卒業(修了)証明書 (Certificate of Graduation)」の原本または certified true copy 卒業した大学が発行し、18桁の番号が記載されているもの
	2	「学歴認証書」(Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate) CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行し、英文で記載されたもの。 ※Online Verification Report of China Higher Education Qualification Certificateを提出する場合は、下記の注意をよく読んで手続きをしてください。
	3	「成績証明書 (Transcript of Results)」の原本または certified true copy 卒業した大学が発行したもの。編入等した場合には編入等前の成績も提出してください。
	4	「成績認証書」(Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript) CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行し、英文で記載されたもの。 ※Online Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcriptを提出する場合は、下記の注意をよく読んで手続きをしてください。
博士後期のみ	5	「学位証明書 (Certificate of Degree)」の原本または certified true copy 16桁の番号が記載されているもの。
	6	「学位認証書」(Verification Report of Higher Education Degree Certificate) CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行し、英文で記載されたもの。 ※Online Verification Report of Higher Education Degree Certificateを提出する場合は、下記の注意をよく読んで手続きをしてください。

## 出願手続き

### 5. 出願期間および送付先

郵送のみ

出願期間 2024年5月2日(木)～5月6日(月) 必着

上記出願期間内の必着とします。レターパックプラス(520円・赤色)で郵送してください。

送付先 ※志願する専攻により送付先が異なります。

(環境情報学専攻 | 東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻) 志願者

〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保3-3-1

東京都市大学 横浜キャンパス 教学部 教学課 大学院入試 担当

(都市生活学専攻) 志願者

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1

東京都市大学 世田谷キャンパス 教学部 教学課 大学院入試 担当

### 6. 出願に関する注意事項

- (1) 受験及び修学に関して特別な配慮を必要とする場合  
身体の障がい等により、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願前に教学課までその旨を連絡してください。
- (2) 原本が1部しかない場合  
海外の大学出身者で、提出書類の原本が一部しかない場合でも、必ず原本の確認をしますので、その場合には出願前に教学課へ申し出てください。  
一度提出された書類は原則返却しませんが、返却を希望する学生は事前に相談してください
- (3) 日本の在留資格を有していない場合  
入学後(2025年4月以降)は本学に登学できることが出願の前提となります。日本の在留資格を有していない者は、新規での査証申請が必要となるため、入国が遅れる恐れがあります。時間に余裕を持って準備を進めてください。

### 7. 出願書類の到達確認・受理について

出願書類の到達確認は、レターパックプラスの追跡番号により行ってください。  
書類に不備がある場合は出願を認めませんので、よく確認の上、出願してください。  
到達確認・個別の受理確認の問い合わせには対応いたしかねます。

### 8. 受験票の発送について

受験票データを電子メールでお送りします。各自でA4サイズの用紙に印刷し、試験当日に持参してください。  
試験期間中、スマートフォン等は電源を切ることとなりますので、必ず印刷をしてください。  
試験2日前までに通知がない場合は、問い合わせてください。

## 出願手続き

### 9. 受験上の注意事項

- (1) 試験開始時刻について  
志願者は各自試験日時及び試験科目を確認してください。別の日時、場所を指示する場合がありますので注意してください。
- (2) 面接試験について
  - ①公共交通機関の遅延で間に合わない場合は、必ず教学部 教学課 大学院入試担当まで連絡を入れてください。
  - ②面接控室から面接室へは、指示に従って移動することとし、面接試験を終えた者は、面接控室へは戻れません。
  - ③面接控室での読書は認めますが、私語や飲食、他の受験生に迷惑となる行為は禁じます。また、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどの電子機器の利用も禁じます。これらに違反した場合には、不正行為とみなしますのでご注意ください。
- (3) 国外からの志願者等について  
別の指示をする場合があります。
- (4) その他
  - ①大学からの指示等に従わない時は、不正行為としてみなす場合があります、厳正に対応します。
  - ②別途指示の上、WEB等を利用して試験を実施する場合があります。  
指示があった場合に備え、あらかじめ以下の環境を整えておいてください。

コンピュータを所持し、自身が受験する期日・時間帯に動画・音声の送信・受信を行えるインターネット環境と面接試験ができるような静かな環境・設備（WEBカメラ・イヤホン・マイク等）を用意すること。

### 10. 問合せ先

※志願する専攻により問合せ先が異なります。

志願する専攻	問合せ先
環境情報学専攻	yckyoumu@tcu.ac.jp
東京都市大学・エディスコワン大学国際連携環境融合科学専攻	
都市生活学専攻	sckyoumu@tcu.ac.jp

# 合格発表・入学手続き等

## 1. 合格発表

2024年5月20日（月）10:00

学内に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人に合格通知書および入学手続き書類を速達で郵送します。

※上記に加え本学 Web ページに合否結果を掲出する場合があります。この場合、志願者には別途メール等で詳細を通知します。

## 2. 入学手続き

- (1) 合格者は、本学入学のためは、期限内に入学手続き書類を提出し、入学手続き金を納入しなければなりません。
- (2) 入学手続きの期限 2024年6月7日（金）消印有効  
ただし、やむを得ぬ理由がある場合、納入金については、最長2025年3月7日（金）まで納入延期を認めます。
- (3) 入学手続き書類の提出と入学手続き金の納入はすべて郵送・振込によるものとし、詳細は合格通知の際に同封する「大学院入学手続要項」を参照してください。
- (4) 納入金について（参考 2025年度入学者納入金）

（単位：円）

区分 納入金	入学手続き 納入金総額	分納希望者の場合	
		入学手続き時	入学した年度の 10月20日まで
入学金	240,000	——	——
授業料	970,000	485,000	485,000
合計	1,210,000	485,000	485,000

①授業料の分納を希望する場合、入学手続き時と入学した年度の10月20日（※土・日・祝日にあたる場合は、その前の営業日）までに分納することができます。

また、2年次以降の授業料は、当該年度の始めに改めて通知します。

②本学からの進学者（2025年3月本学卒業見込者）および東京理工系大学の協定に基づく特別推薦入学者（2025年3月卒業見込者）は「東京都市大学大学院研究科奨学規程」に基づき入学金240,000円が免除されます。また授業料についても、同規程の適用により免除されることがあります。

③いったん納入した入学金および授業料は、返還しませんので充分ご注意ください。

- (5) 私費留学生外国人留学生（在留資格「留学」を有する者、または取得見込みの者）に対し、特別な経済的支援として3割の授業料減免措置の実施をする場合があります。減免措置を希望する場合は入学手続き時に所定の手続きを行ってください。なお、初年度の減免措置は入学した後の減免審議確定後に行います。減免措置を希望する場合であっても上記の分割納入の金額にて入学手続きを行ってください。
- (6) 海外協定大学を卒業した私費外国人留学生のうち言っての条件を満たす者に対し、経済的負担を軽減し、優秀な人材育成を目的として授業料減免措置を実施する場合があります。減免措置を希望する場合は入学手続き時に所定の手続きを行ってください。なお、初年度の減免措置は入学した後の減免審議確定後に行います。減免措置を希望する場合であっても上記の分割納入の金額にて入学手続きを行ってください。
- (7) 研究助手制度について  
博士後期課程の学生を対象とした研究助手の制度（定員あり）があります。研究助手は、指導教員の指示に従い、研究および教育の補助を行うもので、月手当金が支給されます。
- (8) 入学手続き完了後にやむを得ぬ理由により入学辞退を希望し、原則として2025年3月31日（月）17:00までに入学辞退を申し出た場合は、入学金を除く納入期は返還します。詳細は合格通知の際に同封する「大学院入学手続要項」を参してください。ただし、学内推薦入試合格者は出願資格に記載の通り、入学辞退することはできません。

## 合格発表・入学手続き等

### 3. 受験生の個人情報の取扱いについて

手続書類を通じて収集した住所・氏名等の個人情報は、大学からの連絡・資料等の発送や統計的集計に利用いたします。それらの業務を超えた利用はありません。また、個人情報は、厳重に管理いたします。

### 4. 入学後の履修について

#### 修士学位授与要件

＜環境情報学専攻・都市生活学専攻＞

東京都市大学大学院学則の定めるところにより、大学院研究科の博士前期課程に所定の期間在学して、30単位以上を修得し、かつ必要な教育・研究指導を受けた上、本学大学院の行う修士論文の審査及び最終試験に合格し、博士前期課程を修了した者に授与する。

修得単位数（30単位）の内訳は以下のとおりです。なお、「文献研究・演習」「特別研究」は、授業時間外において、「研究指導教員」の指導のもとに行います。

文献研究・演習	4単位
特別研究	6単位
小計	10単位
授業科目	20単位以上
合計	30単位以上

＜東京都市大学・エディスコワーソワソワ大学国際連携環境融合科学専攻＞

東京都市大学大学院学則の定めるところにより、大学院研究科の博士前期課程に所定の期間在学し、主大学ごとに定める修了要件を満たすように30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導等を受けた上で（エディスコワーソワソワ大学が実施するアカデミックトレーニングの合格を含む）、学位論文又は特定課題研究報告書を提出し、その審査及び最終試験に合格し、博士前期課程を修了した者に授与する。

修得単位数は下表の通り、東京都市大学を主大学とする学生は修了要件として、「文献研究・演習 I～IV」「特別研究 I, II」から3単位を含む、東京都市大学開設科目15単位以上、エディスコワーソワソワ大学開設科目15単位以上を修得し、合計30単位以上を修得すること。

東京都市大学開設科目	15単位以上	文献研究・演習，特別研究から3単位を含むこと
エディスコワーソワソワ大学開設科目	15単位以上	
合計	30単位以上	

#### 主なスケジュール

博士前期課程 1年次		博士前期課程 2年次	
4月中旬	履修登録（前期）	4月中旬	履修届登録（前期）
8月上旬まで	<b>研究成果発表会 (M1)</b>	4月下旬	<b>学位論文主題等届出締切</b>
10月上旬	履修登録（後期）	10月上旬	履修登録（後期）
1～2月上旬	<b>中間発表会</b>	1月下旬	<b>学位請求書、学位論文等提出締切</b>
		2月中旬	<b>修士論文発表会</b>
		3月上旬	学位授与（修士）資格認定者発表
		3月中旬	学位授与式

# 奨学金制度

- 本学からの進学者（2025年3月本学卒業見込者及び修了見込者）の入学金は全員免除されます。
- 博士後期課程及び博士前期については、学力・人物ともに優秀な学生に学費の免除を行う奨学制度があります（下表①参照）。この奨学生の選考は、本学からの進学者、東京理工系4大学特別推薦入学者が選考対象となります。他に下表②～④に示す授業料減免、給費奨学制度があります。
- 貸与奨学金の代表例として、日本学生支援機構奨学金があり、無利子貸与（第一種奨学金）と有利子貸与（第二種奨学金）の二種類があります。また、第一種奨学金の貸与者を対象とした「特に優れた業績による返還免除」制度があります（下表⑤参照）。

## ①大学院奨学生（本学独自）

課程	学年	学費免除額	備考
博士後期	D 5	全額免除 または半額免除	内部進学者のみ。
	D 4		
	D 3		
博士前期	M 2		
	M 1		

## ②社会人選抜入学者授業料減免（本学独自）

課程	学年	学費免除額	備考
博士後期	D 5	授業料年額の 90%	社会人選抜で減免希望者のみ。
	D 4		
	D 3		
博士前期	M 2	授業料年額の 50%	
	M 1		

## ③私費外国人留学生授業料減免（本学独自）

対象	学費免除額	備考
次の全てを満たす者 （ア）本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した者 又は卒業見込みの者 （イ）本学大学院入試出願時の GPA 値が 3.0 以上の者	授業料年額の 75%	学内国際委員会が選考し学長が決定する。
次の全てを満たす者 （ア）本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した者 又は卒業見込みの者 （イ）本学大学院入試出願時の GPA 値が 2.5 以上 3.0 未満の者	授業料年額の 50%	
上記以外の私費外国人留学生	授業料年額の 30%	

## ④各種奨学生（以下は給費奨学金実績の一部）

団体名称	支給月額/年額	条件
（一財）守谷育英会	120,000 円 （月額）	東京都内の大学に在学または東京都内に居住で学業・人物とも優秀であって、学資の支弁が困難な者
（公財）ロータリー米山記念奨学会	140,000 円 （月額）	奨学生採用年の 4 月 1 日時点で 45 歳未満の者。かつ、学業優秀の他、異文化理解、コミュニケーション能力に対する姿勢や関心を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者

## ⑤日本学生支援機構（特に優れた業績による返還免除）

課程	学年	認定	備考
博士後期	D 5	全額免除 または 半額免除	大学院において第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、在学中に特に優れた業績を挙げた人として本機構が認定した場合には、貸与終了時に奨学金の全部または一部の返還が免除される制度です。
博士前期	M 2		



## (入学後のプログラム紹介)

### 国費外国人留学生優先配置プログラム（参考）

東京都市大学大学院環境情報学研究科環境情報学専攻は、日本政府（文部科学省）の「2024年度『国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム』」に採択されました（2024年度から3年間）。

日本政府（文部科学省）は、日本政府奨学金により、東京都市大学大学院環境情報学研究科において、環境情報学に関する指導を受ける外国人留学生の募集とともに私費外国人留学生6名、日本人学生6名を募集します。

#### 【プログラム名】

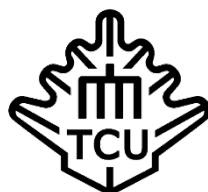
地球規模の環境・社会問題の解決に貢献する問題解決型イノベーション人材育成プログラム

#### 【専攻】

環境情報学研究科 環境情報学専攻

#### 【本プログラムの目的】

環境情報学を基礎として問題発見力を高めるための知識と地域と連携して問題を解決する力を身につけた、地球規模小の環境・社会問題の解決に貢献するイノベーション人材の育成を行うことを目的とします。



---

## 東京都市大学

---

大学教学部門 教学部 教学課 (横浜キャンパス)

〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1

TEL : 045-910-0104

MAIL : yckyoumu@tcu.ac.jp

---

大学教学部門 教学部 教学課 (世田谷キャンパス)

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1

TEL : 03-5707-0104

MAIL : sckyoumu@tcu.ac.jp

---